

春日杉・百萬塔の河合木工

作品帖



奈良銘木 春日杉とは

悠久の 歴史を刻む 春日杉

銘木とは、年数を経た枯淡な味わいのあるものをいいます。秋田杉・吉野杉・春日杉・霧島杉等、産地の名前を冠して呼ばれています。

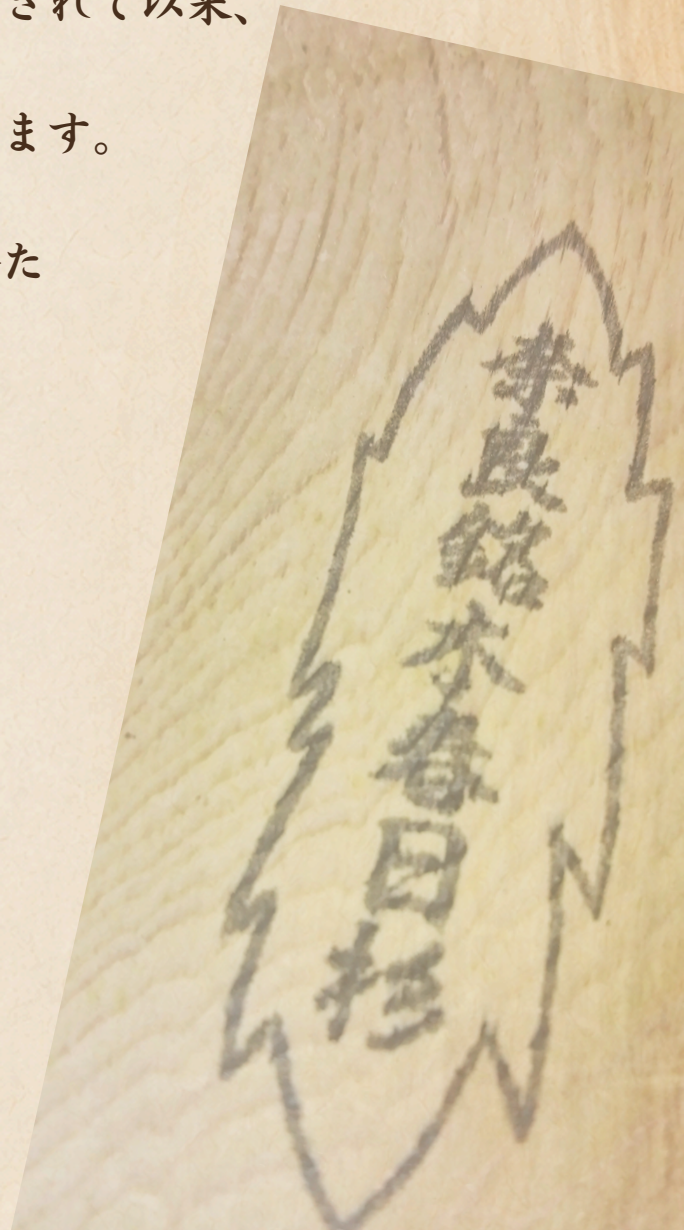
中でも春日杉は、産地である春日山原始林が世界遺産に登録されていることもあり、一切の伐採が禁止されて以来、利用できるのはわずかな倒木のみ。
非常に希少価値の高いものとなっております。

春日杉特有の木香と何百年の年月を経た杣目の細やかさは他に並ぶものはなく、特にいろいろな年輪のあらわれ方で装飾的価値が高くなっています。

自然の味わいを生かすように一点一点手作りしております。末永くご愛用
お願いいたします。

＊お手入れ法＊

春日杉の良さを失わないよう、
磨いたり塗ったりしないでください。
ほこりを払うだけで深みを増します。



百萬塔とは

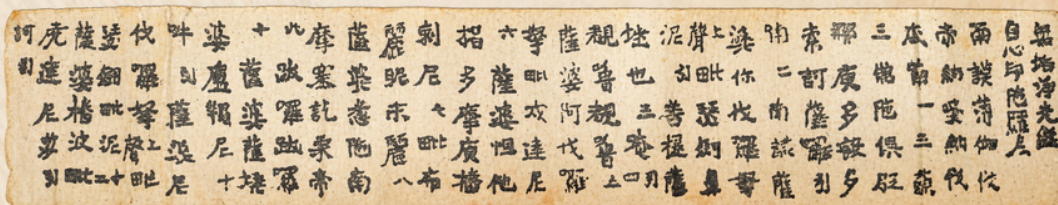
千年の 祈りを包む 百萬塔

奈良時代（770年）、称徳天皇の名で藤原仲麻呂の乱の平定と戦没者の冥福を祈るため、南都七大寺等の十大寺に十万基ずつ分納されました。

塔の中には、世界最古の印刷物「無垢浄光陀羅尼經」という経文が収められていました。

諸大寺の百萬塔は、その後の戦乱などにより消滅し、今日では法隆寺に一部が遺存するのみです。

河合木工ではこれを春日杉で一つ一つ再現しました。また他にも、五重塔、十三重塔などもございます。



▲世界最古の印刷物「無垢浄光陀羅尼經」

藤原仲麻呂の乱を経て、戦乱を鎮め国家の安寧を願った称徳天皇は、塔を造り陀羅尼を納めることで罪障を滅し、国家を護る功德が得られるという仏教の教えに基づき、百万の塔を造立し、その一基一基に陀羅尼を納めました。

塔

PAGODAS

KAWAI MOKKO / WORKS



01

百萬塔

Hyakumantō
(One Million Pagoda)



02

五重塔

Five-Storeyed Pagoda



03

十三重塔

Thirteen-Storeyed Pagoda

※価格・在庫状況については、
お問い合わせください。

KAWAI MOKKO

花生



自然



丸



角

器と敷台



※価格・在庫状況については、
お問い合わせください。

室 礼



※価格・在庫状況については、お問い合わせください。

こちらに掲載しているもの以外にも、春日杉を使用した
様々な作品がございますので、お問い合わせください。



- 結界

春日杉・百萬塔の
河合木工

kawaimokko.nara@gmail.com

<https://kawai-mokko.pages.dev/>

奈良県奈良市川久保町22（工場）



春日杉・百萬塔の河合木工

ABOUT KAWAI MOKKO

KAWAI MOKKO / PROFILE

河合木工は、戦後、先代が興した木工の仕事に始まります。

東大寺の門前、春日大社にもほど近い奈良の町で暮らし、寺社との関わりを持ちながら、木工の仕事を受け継いできました。

奈良・春日山原始林に育つ春日杉は、現在では入手そのものが極めて限られる銘木です。春日杉を用いる木工の伝統は大和指物などにも残されていますが、今日、春日杉を素材として工芸品へ仕立て、販売している例はごく限られています。

河合木工ではこれまで、百萬塔、塔、花生、器、敷台、室礼の品々を制作し、寺社仏閣や百貨店、工芸品展などへも納めてまいりました。

なかでも、奈良時代から伝わる百萬塔を春日杉で仕立てる仕事は、奈良の木と奈良の歴史的造形を一つの作品に重ねた、河合木工を象徴する作品です。

東大寺の門前で、春日山の木を使い、奈良にまつわるかたちをつくる。

それが、河合木工です。



代表者・製作者
河合雅和

CONTACT

奈良県奈良市川久保町22（工場）

kawaimokko.nara@gmail.com

<https://kawai-mokko.pages.dev/>